



遠大勵志

進路報告会

卒業生に学ぶ・卒業生と語る

【3月16日、春季課外1時間目(8:30~9:30)】

1年生と2年生全員が第一体育館に集合し、2週間前に卒業したばかりの卒業生8人から、合格に至った体験談などを聞きました。今後の学習や進路決定の参考になる進路報告会。黒北ならではの素晴らしい取り組みだったと思います。



会は、司会の板澤先生からの「いろいろなことを体験してきた3年生の話は必ず身になる。黒陵生のDNAをしっかりと受け継いで欲しい」という在校生への語りかけで始まりました。

☆1人目は、国際基督教大学教養学部に合格したYさん。

ICUのオープンキャンパスに行き、静かな環境の中にある大学で、寮もたくさんあり学生達と密な時間を過ごせるいい大学だと感じた。推薦を考えるうえで、自分の考えを言葉にする力が必要だと感じた。3年生の姿を見て大変だとみなさんは思うだろうが、周りに友人もいるし、一緒に頑張れるから、自分の目標の大学に向けて頑張りたい。

☆2人目は、岩手大学理工学部に合格したFさん。

震災復興に貢献したいと思い、建築の道に進もうと思った。受験勉強は、友人と勉強を競い合い励まし合った。自分はセンター試験後に岩手大学を志望することにした。勉強する時間は誰でも同じなので、自分が頑張っても周囲も頑張る。だからこそ、早めに取り組み、先生方に相談することが大事。

☆3人目は、山形大学人文社会科学部に合格したKさん。

目標を決めることでいいことは3つある。①モチベーションがアップすること ②勉強の計画が立てやすくなること ③二次対策が始められること。見落としがちなのは、第二志望や第三志望を決めておくこと。目標決定の次にやることは、

基礎をいつまでに固めるかなど、計画を立てて勉強することだ。すぐに始めて欲しいことは、毎日の勉強。毎日2~3時間学習する習慣がなければ、部活動を引退してから5~6時間の学習はできない。

☆4人目は、東北大学工学部に合格したAさん。

1年生7月の進研模試で、自分は学年で100番台だった。2年生の時に目標を東北大にして、東北大に入れる力をつけよう、そうすれば、どこかには合格はできるはずだと考え、頑張ろうと思った。睡眠をしっかりと取って、休日の学習時間をしっかり取ることが大事だ。

☆5人目は、一橋大学法学部に合格したOさん。

(1) 目標設定。部活動でも目標を決め、そこに向けてどんな練習をして、どんなプレーをするか計画を立てて取り組むと思うが、学習も全く同様。

(2) 学校の課題。学校から

出される課題はしっかりとやること。その時に、「この課題は自分の力をつけるためのもの、自分の力を伸ばすためのものである」という意識を持って取り組むことがとても大事。頑張りたい。



☆6人目は、東京学芸大学教育学部に合格したSさん。

(1) やることはやりきってほしい=部活動もやりきってから引退して欲しい。部活動を一生懸命にやれば勉強にも必ずいい影響がある。何事も切り替えが大事。

(2) 決めたら必ずやりぬく=計画を立てたらやりきる。吹奏楽の引退は9月。引退後は1ヶ月後のなりたい自分を想像して頑張った。手を伸ばせば届くような目標をたてて、そこに向けて頑張ることが大事。

(3) 授業と課外に集中=部活動に精を出せば、自宅での学習の時間は容易には取りにくい。だからこそ、授業と課外に集中することだ。

(4) 受験とは = 大学に全国から受験生が集まり、大学側があなたは欲しい、あなたはいらぬというもの。辛くなることも嫌だと思ふこともあるが、周りには友人がいる。模試などの点数を競い合うことでも頑張れた。一人一人が作るクラスの雰囲気も大事。決してネガティブなことを言わずに、みんなでいい環境・いいクラスを作ることが大事。受験は自分を変えるチャンスであり、自分を一歩進めることができるものだ。

☆7人目は、岩手県職員に合格した F さん。

公務員試験は、6～8月にエントリー、9月に一次試験を受験して11月に結果がでる。公務員と大学の勉強を両立させることは難しいが、1, 2年生は学校の授業をしっかり取り組めば大丈夫。公務員試験には判断推理と数的推理がでるので、3年生の夏休みなどに、公務員専門学校での講座などに参加することで十分対応できる。公務員模試も受験するが、その後をしっかり復習することが大事。

☆8人目は、難関大学(後期)に受験中の A さん。

新しい内容は授業で覚えるよう努めた。タイムロスにならないように授業に集中した。3年生になってからは、わからないことはすぐに先生方に質問すべき。3年生になったら変われると考えている人もいるだろうが、意識を変えない限り、2年のスタイルは変えられない。チャンスは存分にある。自分の意識を変えて頑張るって欲しい。勉強と部活動の両立を図ることも大事。今日現在で、国公立大学の前期試験まで、2年生は346日、1年生は712日。一日一日を無駄にしないで、大切にしたい。みんなの成功を祈っている。

【春季課外、2時間目(9:40～10:40)】

2年生は、さらに進路希望ごとに8カ所の会場に分かれて卒業生を囲み、詳しく話を聞きました。

- ・人文国際系(2年1組にて) 【29人参加】
- ・社会法経系(2年2組にて) 【36人参加】



- ・教育福祉系(2年3組にて) 【35人参加】
- ・工学系(大教室にて) 【58人参加】



- ・理学系(2年4組にて) 【15人参加】



- ・農学系(2年5組にて) 【12人参加】
- ・医療系(中教室にて) 【47人参加】



- ・公務員系(2年6組にて) 【8人参加】



2年生240人は、1時間目に文系・理系問わず、8人の先輩達から話を聞いた後、自分の希望する系統の指定教室に移動し、現在考えている志望大学などに向け、合格のためには、どのような準備をすればいいのかが等の話を聞きました。

より質問しやすい環境の中で、熱心に聞いている生徒の姿がありました。

グループ形式で密に話している教室、活発な質問が飛び交っている教室、先生と卒業生のやりとりを中心に質問する教室など、どの教室にも熱心に1年後の自分を考えている様子が感じられました。

この進路報告会は、2年生にとってまさに時宜を得たものになったように思います。新3年生になる「0学期」に相応しい企画でした。8人の先輩方が話したことの一つでも二つでも自分のものとして消化して、これからの進路達成のために頑張るって欲しい。意識を変えて取り組もう！時間の使い方で道が拓かれる！

努力することの本当の意味は人に勝つということではなく、天から与えられた能力をどこまで発揮させられるかにある。

(京都大学元総長:平澤 興)